



令和2年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年5月8日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜久田 匡宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 北嶋 重晴

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 令和2年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年6月期第3四半期の連結業績(令和元年7月1日～令和2年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年6月期第3四半期	10,922	33.8	646		610		340	
元年6月期第3四半期	8,161	22.1	64		96		64	

(注) 包括利益 2年6月期第3四半期 339百万円 (%) 元年6月期第3四半期 64百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年6月期第3四半期	71.10	
元年6月期第3四半期	13.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年6月期第3四半期	10,102	1,010	10.0	210.94
元年6月期	11,921	750	6.3	156.84

(参考) 自己資本 2年6月期第3四半期 1,010百万円 元年6月期 750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年6月期		8.20		8.20	16.40
2年6月期		8.20			
2年6月期(予想)				8.20	16.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年6月期の連結業績予想(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	7.4	630	20.5	500	9.7	280	41.7	58.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年6月期3Q	5,204,500 株	元年6月期	5,204,500 株
期末自己株式数	2年6月期3Q	416,088 株	元年6月期	421,688 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年6月期3Q	4,785,111 株	元年6月期3Q	4,787,054 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税率の引き上げ後は個人消費に力強さを欠く状況となりました。加えて、米中貿易摩擦の長期化、新型コロナウイルスの感染拡大等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高10,922,625千円（前年同期比33.8%増）、営業利益646,206千円（前年同期は64,817千円の営業損失）、経常利益610,959千円（前年同期は96,538千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は340,250千円（前年同期は64,604千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別業績は次の通りであります。

①駐車場事業

駐車場事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止策としての外出自粛の影響により駐車場利用者が減少する中、安心・安全な車室の提供に努めてまいりました。

以上の結果、売上高5,146,425千円（前年同期比4.3%減）、営業利益160,437千円（同30.9%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は809ヶ所（前年同期より7ヶ所増、前連結会計年度末より3ヶ所増）、車室数は30,383車室（前年同期より774車室減、前連結会計年度末より542車室減）となっております。

②不動産事業

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間においては、新築マンション2棟「トラスト野間大池公園レジデンス（福岡市南区、33戸）」及び「菜花道門コート（山口県山口市、100戸）」が竣工いたしました。また、既竣工物件である「トラストネクサス速玉パークレジデンス（山口県周南市）」及び「トラスト別府駅前（大分県別府市）」の販売も継続、合わせて148戸の引き渡しを実施した他、不動産売買の仲介にも注力いたしました。

以上の結果、売上高2,876,690千円（前年同期比334.6%増）、営業利益225,716千円（前年同期は299,839千円の営業損失）となりました。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、「トラストパートナーズ第13号（神奈川県藤沢市）」、「トラストパートナーズ第14号（宮崎県宮崎市）」、「トラストパートナーズ第15号（福岡市南区）」及び「トラストパートナーズ第16号（福岡県久留米市）」を組成、完売いたしました。

以上の結果、売上高1,744,297千円（前年同期比131.9%増）、営業利益270,463千円（同343.5%増）となりました。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「福岡信和病院」及び「介護老人保健施設みやこ」の賃貸収入等により概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高140,303千円（前年同期比3.3%減）、営業利益26,135千円（同33.5%減）となりました。

⑤RV事業

RV事業につきましては、新型車種「C-LH」の製造及び販売に注力いたしました。

以上の結果、売上高168,885千円（前年同期比32.9%減）、営業損失27,324千円（前年同期は106,894千円の営業損失）となりました。

⑥その他事業

その他事業につきましては、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せりゅう（山口県下関市）」の来館者数拡大及び水素水関連商品の定期顧客確保等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高846,023千円（前年同期比13.2%減）、営業損失24,520千円（前年同期は22,186千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して981,190千円減少し、5,897,679千円となりました。主な増加要因は、販売用不動産の増加275,119千円であります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少1,280,639千円、仕掛販売用不動産の減少248,285千円であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して837,316千円減少し、4,205,126千円となりました。主な減少要因は、「トラストパートナーズ」での販売を目的として、建物及び構築物712,685千円、土地287,822千円を「販売用不動産」へ振替えたことによるものであります。なお、当該資産は「トラストパートナーズ第15号」及び「トラストパートナーズ第16号」として組成し、完売しております。

この結果、総資産は10,102,806千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,818,506千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して694,498千円減少し、5,388,648千円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加441,000千円、未払法人税等の増加138,818千円であります。一方、主な減少要因は、買掛金の減少1,307,414千円であります。固定負債は前連結会計年度末と比較して1,383,979千円減少し、3,704,044千円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少1,388,101千円であります。

この結果、負債合計は9,092,693千円となり、前連結会計年度末に比べ2,078,478千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して259,971千円増加し、1,010,112千円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加340,250千円、主な減少要因は、剰余金の配当81,383千円であります。

この結果、自己資本比率は10.0%（前連結会計年度末は6.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年6月期の通期の連結業績予想につきましては、令和元年8月9日に公表いたしました「令和元年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,213	1,383,573
受取手形及び売掛金	327,610	280,883
販売用不動産	1,211,678	1,486,797
仕掛販売用不動産	1,055,604	807,318
商品及び製品	113,116	71,252
原材料及び貯蔵品	76,714	64,025
仕掛品	34,946	36,989
その他	1,466,976	1,835,372
貸倒引当金	△71,989	△68,535
流動資産合計	6,878,869	5,897,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,326,397	1,515,711
土地	1,117,701	829,879
その他（純額）	627,620	869,610
有形固定資産合計	4,071,719	3,215,201
無形固定資産		
のれん	151,448	122,256
その他	37,345	111,850
無形固定資産合計	188,793	234,106
投資その他の資産	781,930	755,819
固定資産合計	5,042,443	4,205,126
資産合計	11,921,312	10,102,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,678,783	371,368
短期借入金	2,150,000	2,591,000
1年内返済予定の長期借入金	1,070,541	1,034,244
未払法人税等	59,904	198,723
ポイント引当金	13,808	10,884
賞与引当金	—	38,237
資産除去債務	6,586	1,100
返品調整引当金	147	147
その他	1,103,376	1,142,943
流動負債合計	6,083,147	5,388,648
固定負債		
長期借入金	4,374,084	2,985,983
株式給付引当金	12,551	13,295
退職給付に係る負債	63,256	70,595
資産除去債務	97,223	102,554
その他	540,910	531,616
固定負債合計	5,088,024	3,704,044
負債合計	11,171,171	9,092,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	224,086	224,086
利益剰余金	312,409	571,276
自己株式	△206,117	△204,324
株主資本合計	753,375	1,014,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,233	△3,922
その他の包括利益累計額合計	△3,233	△3,922
純資産合計	750,141	1,010,112
負債純資産合計	11,921,312	10,102,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年7月1日 至令和2年3月31日)
売上高	8,161,265	10,922,625
売上原価	6,596,247	8,641,654
売上総利益	1,565,017	2,280,971
販売費及び一般管理費	1,629,834	1,634,764
営業利益又は営業損失(△)	△64,817	646,206
営業外収益		
受取利息	1,431	313
受取配当金	37	1,301
受取解約違約金	3,113	4,952
受取保険金	2,978	15,005
受取和解金	5,500	15,000
保険解約返戻金	—	16,115
貸倒引当金戻入額	58,946	—
その他	7,672	15,684
営業外収益合計	79,679	68,373
営業外費用		
支払利息	94,973	87,547
その他	16,427	16,072
営業外費用合計	111,400	103,620
経常利益又は経常損失(△)	△96,538	610,959
特別損失		
減損損失	4,652	4,340
固定資産除却損	—	2,021
特別損失合計	4,652	6,362
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△101,191	604,597
法人税、住民税及び事業税	42,623	218,846
法人税等調整額	△79,210	45,500
法人税等合計	△36,587	264,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,604	340,250
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,604	340,250

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成31年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和元年7月1日 至 令和2年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,604	340,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△688
為替換算調整勘定	—	—
その他の包括利益合計	60	△688
四半期包括利益	△64,543	339,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,543	339,562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(保有目的の変更)

第2四半期連結会計期間において、保有目的の変更により、「建物及び構築物」及び「土地」に計上していた有形固定資産1,000,507千円を「販売用不動産」へ振替えております。なお、当該資産はすべて売却し、売上原価に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成31年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	5,375,989	661,940	752,192	145,142	251,616	7,186,880
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,331	15,898	22,462	-	2,937	46,630
計	5,381,320	677,838	774,655	145,142	254,554	7,233,510
セグメント利益 又は損失(△)	232,133	△299,839	60,981	39,329	△106,894	△74,290

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	974,384	8,161,265	-	8,161,265
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	77,216	123,846	(123,846)	-
計	1,051,601	8,285,111	(123,846)	8,161,265
セグメント利益 又は損失(△)	△22,186	△96,476	31,659	△64,817

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去384,222千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△352,428千円及び棚卸資産等の調整額△135千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和元年7月1日 至 令和2年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	5,146,425	2,876,690	1,744,297	140,303	168,885	10,076,602
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,023	15,985	40,610	-	276,284	334,902
計	5,148,448	2,892,675	1,784,907	140,303	445,170	10,411,505
セグメント利益 又は損失(△)	160,437	225,716	270,463	26,135	△27,324	655,427

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	846,023	10,922,625	-	10,922,625
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	97,149	432,052	(432,052)	-
計	943,172	11,354,678	(432,052)	10,922,625
セグメント利益 又は損失(△)	△24,520	630,907	15,299	646,206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去394,549千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△376,567千円及び棚卸資産等の調整額△2,682千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において報告セグメントとしていた「ウォーター事業」は、重要性が低下したことにより、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。